

ジュエリーは、誰を夢見る

と き／10月24日(土)～2027年1月17日(日) 10：00AM～6：00PM
ところ／京都国立近代美術館(11/23(月・祝)以外の月曜と年末年始休館
京都市岡崎門勝寺町岡崎公園内 ☎075-761-4111

1964年に平松保城(1926-2012)や菱田安彦(1927-1981)を中心に日本ジュエリーデザイナー協会(JJDA)が設立された。それはまだ日本でジュエリーが一般的ではなかった時期のことである。JJDAを中心に開催された「国際ジュエリー・アート展」(西武百貨店渋谷店、1970年～1986年開催)は、欧米の動向を日本に紹介し、素材の価値だけではないデザインという概念を広めていった。70年代後半からは、ジュエリーの特性をコンセプトとした、同時代美術と呼応する作品が日本にも紹介されるようになった。これらはコンテンポラリージュエリーと呼ばれ、富や象徴としての役割や、着用者と見る人との関係性を逆手に取った表現が提示された。1993年には、伊藤一廣(1948-1997)やオットー・キュンツリ(1948-)を中心として東京、ミュンヘン、そしてアムステルダムによる三校合同展が始まるなど、コンセプチュアルな姿勢を持つ海外作家との交流が継続するようになった。現在、日本人作家は、芸術表現としてのジュエリーの領域で大きな存在感を見せている。同時に彼・彼女たちは、コンセプチュアルなジュエリーを自らのアイデンティティを問い直す方法論としてきたともいえる。本展は、専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ所蔵作品の大規模な公開に加え、約50年ぶりにドイツから来日する優品や現代作家作品まで、約350件により構成されている。身に着けるものに表現が侵入している、というジュエリーの可能性を、戦後の日本に視点を据えて問い直す展観だ。



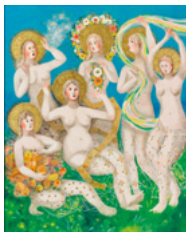
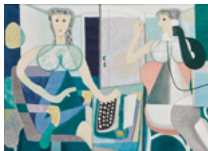
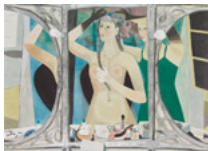
《開館60周年記念》特別企画展Ⅱ

モデルになったミューズたち

と き／10月15日(木)～12月20日(日) 9：30AM～5：00PM
ところ／京都府立堂本印象美術館(祝日以外の月曜と11/14休館)
京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

《美人(婦人公論)》
表紙絵原画
1934年 個人蔵

芸術家にとってモデルとは、外見的な美しさを超えた崇高な美の象徴―すなわち「ミューズ(芸術の女神)」。堂本印象(1891-1975)は、初期から晩年までさまざまな女性をモデルに描いた。例えば、10代の学生時代には生活の匂いのする女性たちを生き生きとあらわし、20代になると花街の女性を取材し、彼女たちの妖艶さと内面に迫った。こうした青春時代を経て、20代後半に日本画家として本格的に歩みはじめてからは、女性を芸術的表現の中で捉え、伝統美から革新的な手法にいたるまで、一所にとどまらない多彩なアプローチでその美に迫った。本展では、堂本印象が挑み続けた深く豊かな女性表現の世界を紹介している。



会 場		日 曜	1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	8 (日)	9 (月)	10 (火)	11 (水)	12 (木)	13 (金)	14 (土)	15 (日)	16 (月)	17 (火)	18 (水)	19 (木)	20 (金)	21 (土)	22 (日)	23 (月)	24 (火)	25 (水)	26 (木)	27 (金)	28 (土)	29 (日)	30 (月)	12/1 (火)		
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	田能村直人と近代京都の南画－自然のアンビエンス																																	
	3F	寛永行幸四百年祭開催記念															令和6年能登半島地震復興祈念 不滅の力 永井豪 －永井豪記念館リバイバル－																		
	4F	特別展「寛永 太平がはぐむ美」																																	
	5F	← 徳田嘉孝 作品展					仏 第 教63 回 美術展						心 第 象59 回 書展						！ もの の あ は れ を ！ 中川 聖久 の線						創工 第 三工芸37 回 美術展										
	6F	第6回きょうと椅子					佐々木真弓・アトリエエンジェル ステンドグラス ランプ展										現代の 京刺繍展										第四回 花都の 會書展								
	別館	←	京都新世代いけばな展2026 「時の美＝用の美」								音楽 会								音楽 会		大ZOU展								天竺展						
京 都 学 ・ 歴 彩 館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831		京都学・歴彩館令和8年度秋季特別展 寛永行幸四百年記念（休館日：3日） －洛外の寛永行幸 家光の流、尾張・紀伊藩の伏見－										休 館												休 館											

時代を彩る作家たち〈現代アートとラグジュアリー展〉
―栗本夏樹、シーズン・ラオ、大平和正―

と き／10月16日(金)～11月23日(月・祝) 12:00～6:00PM
ところ／ギャラリー白川(月・火休廊、23日祝日開廊)
京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

時代を彩る作家として、現代アートを「観ること」から、「空間体験・ラグジュアリー」へと繋ぐ作家たちを、ギャラリー白川取り扱い作家より3名をご紹介します。

現代茶碗の制作を行う大平和正は、アップル社創始者ジョブズ氏にも作品が収蔵される造形作家です。日本の風土に根ざした視点で造形活動を展開しています。

栗本夏樹は、京都代表する現代漆作家として、リッツ・カールトン(京都)、HOTEL THE MITSUI(京都)、ブルガリ(心斎橋)にコレクションされており、伝統的な技法を用いて新しい漆の表現へ挑戦しています。とくに栗本の制作する深い緑は、ブルガリエメラルドとも呼応、メゾンへ設置されています。

そしてリッツ・カールトン福岡のエントランス、10メートルにわたる大作を手掛けた現代美術・シーズン・ラオは、博多織を用い、古代から東アジアとの交流拠点であった福岡の歴史・思想・美意識を再構築した作品を制作。メインビジュアルとなっています。

時代を彩る作家たちの作品を、一同にご覧いただける機会です。ぜひ、ご高覧ください。



栗本夏樹



シーズン・ラオ



大平和正

佐々木真士 日本画展―Color of India―

と き／10月30日(金)～11月8日(日) 12:30PM～6:30PM
ところ／ARTES ELYSION(11/5、11/6の木・金休廊)
京都市中京区姉小路通寺町西入 ☎075-600-0469

色彩パワー炸裂！インドの生命力を日本画で描く

インドは、実に色彩にあふれている。雑踏と埃にまみれた褐色の大地にあって、建物の壁や調度、人々の衣服などに施された様々な装飾は、どれも色鮮やかで美しい。多様な宗教や生き方、価値観が反映された色彩は、混ざることなく個々に際立ち、全体として調和し、生命エネルギーに満ちている。

今回の展示では「The Color of India」と題し、佐々木氏が長年取り組んできたインドをテーマとした色彩豊かな日本画を、過去の作品も含めて多彩に展開する。



《花籠》10M

●プロフィール

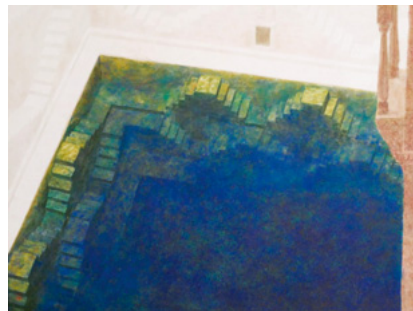
佐々木真士(ささき・しんじ)

- 1976年 広島県生まれ。
 - 1998年 京都芸術短期大学専攻科修了。
 - 2012年 日経日本画大賞展 入選。
 - 2013年 第2回Artist Group-風 入選。
 - 2017年 第35回京都府文化賞奨励賞。
 - 2024年 高島屋日本橋店ほかで個展。
- 他個展、グループ展多数。

現在NIHONGA○-en-代表、日本美術家連盟会員



《バラナシ》90.9cm×233.4cm



《階段井戸》25P

稲垣直樹個展 聖衣―時空の花―

と き／11月10日(火)～11月22日(日) 11:30AM～6:30PM

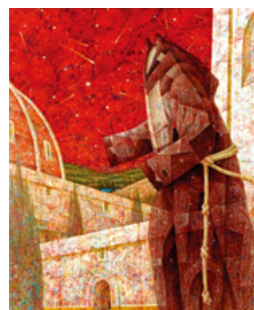
ところ／ギャラリー Create 洛 (月曜休廊)

京都市中京区丸太町通堺町角 ☎075-708-7898

「聖衣」をモチーフに描き出してから30年近くの年月が経った。近年は星空の風景と組み合わせ、遠い記憶を呼び覚ますような幻想的世界を目指している。

今春3月から4月にかけて展覧会の仕事を兼ねて8年ぶりにイタリアを旅した。時を経て少しずつ移りゆく街並みの景観や世の流行という表層の変化と、決して変わることのない歴史的文化遺産の表情や普遍的な人々の営みの確かさを同時に感じとることができた。フィレンツェやアッシジの春の空気はとても清々しく、何度も深呼吸を繰り返した。

(稲垣直樹)



稲垣直樹・略歴

- 1959年 京都府生まれ
- 1986年～ 二紀展出品 (以降毎年、東京都美術館・国立新美術館)
- 会員賞2回 (17、23) 同人賞2回 (02、06) 奨励賞 (93)
- 1993年 東京セントラル美術館油絵大賞展、浅井忠記念賞展他出品
- 1998年 滞伊留学 (フィレンツェ、Studio Giambo 古典技法在研終了)
- 2002年 イタリア国際現代美術展招待出品 (フィレンツェ、ガレリア・グエルファ他)
- 2006年 茨木市教育功労者表彰 (同2007年)
- 2008年 Proposte Dal Giappone展 (ミラノ、ガレリア・シューベルト他)
- スケッチ画文集 (イタリア、スペイン、フランス) 出版
- 2013年 La Luce Nel Tempo展 (フィレンツェ、ルツ・アートギャラリー、同Ⅱ展15年)
- 同Ⅲ展18年、フィレンツェ、Accademia Delle Arti Del Disegno)
- 2016年 作品集〈たいらなそら〉出版
- 2026年 Il Sogno Infinito展 (フィレンツェ、ダンテの家博物館ギャラリー)

現在までに東京、京都、大阪、神戸などで個展39回。グループ展多数。

(社) 二紀会委員、(社) 日本美術家連盟会員

(作品収蔵先) 茨木市、長岡京市、(学) 仁川学院、仁川カトリック教会、大阪玉カトリック教会大聖堂他

鴻池朋子 メディシン・インフラ

と き／10月10日(土)～11月15日(日) 1:00PM～7:00PM

ところ／ギャラリー宮脇 (水曜休廊)

京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

この度、現代美術家・鴻池朋子の、京都では初となる作品展を、近年のプロジェクトや活動の紹介と共に開催いたします。塔のような画廊ビル全体をサイトスペシフィックに使用してワークショップをしたり、着物と刺繍の実験的な新作、毛皮指人形や皮絵画など素材との出会いによって制作された作品のインスタレーション、図書館のように記録写真や映像、著書が閲覧できるスペースなども設けられます。鴻池がギャラリー宮脇の最初の下見でしたこととは、5階から屋上のハッチを開けに行き、何よりも先にこの建物に風を通したことでした。これまでも鴻池は、場所に少し手をかけることで、そこに滞留する時間や空気を震わすような仕事をしました。それは新しい何かを作ることとは違い、私たちと世界との関係を再び濃密に連続させるような体験です。

タイトルの《メディシン・インフラ》とは、「メディシン」には薬や自然治癒

力、「インフラ」には道筋という意味が働いています。高速で直線的に目的地へ行く道ではなく、身体感覚を総動員し、それぞれのペースで独自の旅をする、「生きものとしての小径」が私たちの周りに潜んでいて、今回はその小径を観客と共に探っていきます。

鴻池朋子略歴

秋田県生まれ。東京藝術大学日本画専攻卒業。1998年頃よりアニメーション作品を発表。以後、絵画、ランドアート、彫刻、絵本、パフォーマンスなど幅広く活動。生命エネルギー、重力、身体感覚に関心を持ち、国内外でサイトスペシフィックなプロジェクトを多数手がける。東日本大震災以降、災害や戦争など社会を揺さぶる変動や、オリンピック、万博といった国家的祭典をめぐる創作を展開。2017年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。美術館個展に「根源的暴力」「ハンターギャザラー」「みる誕生」「メディシン・インフラ」など。



鴻池朋子《顔毛皮・銀狐》(2024)



鴻池朋子《喪服／刺繍》(2026)



鴻池朋子
《展覧会フライヤーデザイン》

深田充夫展 develop (ペン画と陶彫)

と き／11月10日(火)～11月22日(日) 11:00AM～6:00PM
ところ／アートギャラリー博宝堂(月曜休廊)
京都市左京区岡崎神宮道東側 ☎075-771-9401

コンセプト【develop】

留まることなく、変化し、挑戦し続けること。

材質や形式の限界を超え、自由自在に自らの表現を推し進めていくために、本展を『develop』と冠しました。

今作で追求したのは、「命あるものの発達と成長」という無二のエネルギーです。

幾重にも線を紡ぐ「ペン画」と、立体として命を宿す「陶彫」。抽象的なアプローチによって、あらゆるものが発展していくプロセスの本質に迫ります。

変化を恐れず進化する表現の世界を感じていただければ幸いです。



製作中の深田充夫



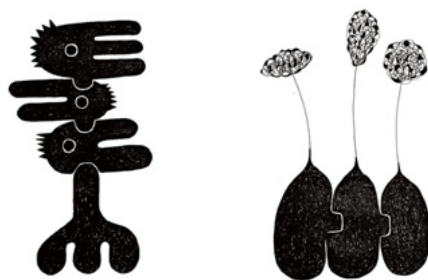
《develop-a》

●プロフィール

- 1956 滋賀県に生まれる
- 1978 京都精華短期大学立体造形専攻科卒業
- 1981～ 第2回ヘンリー・ムーア大賞展優秀賞受賞他
- 1993 第1回フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展特別優秀賞受賞
- 2002 紺綬褒章授章、守山市社会功労賞受賞
- 2003～2009 京都造形芸術大学美術工芸学科彫刻コース非常勤講師
- 2004 第8回KAJIMA彫刻コンクール金賞受賞
- 2012 第22回AACA賞優秀賞受賞／日本建築美術工芸協会
- 2013 ドイツ個展 彫刻家 深田充夫展 Stein, Waaser Und Erde／ドイツ

他個展多数開催

2016～ 滋賀県文化賞他多数受賞



嚙矢際ー其之百四十三ー青木恵展 汀

と き／11月5日(木)～14日(土) 10:00AM～6:00PM

ところ／大雅堂(会期中無休) 京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7380

作家コメント：

ご飯を食べたり、笑ったり、ときには泣いたり。そうした何気ない日々の営みの積み重ねを、私は草花として描いています。

京都・三十三間堂で千体の観音像を目にしたとき、静かに連綿と続くその姿が、私の描く幾重にも重なる花へとつながりました。草花の連なりの中に私たち人の姿を見つけました。

本展では、近年制作した約16点の作品を展示いたします。



《アナベルの庭》10F

eggo0102 夢山祐子展 葡萄みたいな優しさで

と き／11月26日(木)～12月5日(土) 10:00AM～6:00PM

ところ／大雅堂(会期中無休) 京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7380

作家コメント：

夏の暑い日、葡萄棚からもぎたての葡萄を「持って帰り」と手に乗せてもらいました。ずっしりとした優しい葡萄。光を受けてきらきらと輝く姿に、心を奪われました。

私は日常の中で心が動いたものを、記録するように描いています。

以前は目に映る「葡萄の美しさ」に感動しているのだと思っていました。けれど実際には、その出来事から生まれた心の動きが、絵の起点になっているのだと思います。

絵を描くことは、世界に触れるときの態度であり、自分がどう生きたいかを腑に落としていく行為でもあります。

作品に込めた心の機微を、会場で感じていただけましたら幸いです。



《葡萄みたいな優しさで》6F

第33回 書画まつり

と き／11月14日(土)～11月23日(月・祝) 10:00AM～6:00PM

ところ／ギャラリー鉄斎堂(会期中無休)

京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262 ☎075-531-6164

この度、第33回書画まつりを開催させていただきます。江戸時代から昭和末迄の日本画を中心に1万円から500点余りを展示即売させていただきます屏風も多数展示しております。沢山の中からお気に入りの作品と出会っていただけるものと思います。また弊社ホームページでも全作品をご覧いただけます。

主な出品作家

古画よりー円山応挙、渡辺崋山、田能村竹田、白隠慧鶴、仙厓義梵、曾我蕭白 他

新画よりー竹内栖鳳、富岡鉄斎、橋本閑雪、都路華香、富田溪仙、福田平八郎、

小野竹喬、堂本印象、池田遙邨、山口華楊、生田花朝、秋野不矩、

鎗木清方、伊東深水、中川一政、棟方志功 他

道具よりー永楽即全、大田垣蓮月、徳田八十吉、河井寛次郎、深見陶治、藤田喬平 他



「鉄斎堂へようこそ」
<https://tessaido.jp/>



奥村土牛《柿》

●会期中、当ギャラリーにて無料鑑定も行っております。美術品を無料鑑定及び、査定を行います。お気軽にお持込下さい。買取希望の方は身分証明証が必要です。



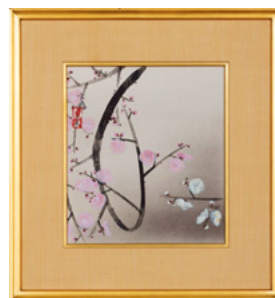
上村松篁《桔梗》



河井寛次郎《扁壺》



山口華楊《旭日》



前田青郁《梅》

画家たちが描いた永遠のいのち 「静物画」ー明治・大正・昭和の名作を一堂にー

と き／11月17日(火)～12月19日(土) 10:30AM～6:00PM

ところ／星野画廊(毎週月曜と11/22以外の日曜休廊)

京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

西洋画の主要なジャンルを占める「静物画」。その起源はローマ時代に遡るという。1600年前後にベルギー、オランダとイタリア、スペインで同時に制作され始め、特にオランダでは静物画が風俗画、肖像画、風景画とともに絵画の主流となったという(Wikipedia)。

近代絵画ではセザンヌが描いたリンゴの絵がまず想起され、岸田劉生が描いた静物画の執拗なまでにコッテリした絵や、対局にあるモランデイの絵を思い出す方も多いことでしょう。

Still Lifeという英語の表現に示されるように、静物画は死んでしまった自然ではなく、動きを止めた生命だと解釈されています。つまり画家たちは一枚のキャンバスに、限りない命の息吹を表現するために絵筆を取り、未来の鑑賞者に伝えようとしているのです。「静物画」にはその時に描かれ、封じ込められた永遠の時間が今も新鮮なままに息づいています。



岡崎桃乞《竹籠と柘榴》
1929(昭和4)年 油彩8号F



里見勝蔵《柘榴》
1931(昭和6)年頃
油彩12号



服部喜三《古陶》
1934(昭和9)年 油彩12号



黒田重太郎《蔬菜静物》
1936(昭和11)年 油彩10号変形



船川末乾《卓上》
1927(昭和2)年
油彩10号

会 場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1			
			(日)	月	(火)	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火			
(貸)	芸 艸 堂 画 廊	木版画常設展（貸画廊受付中）																																		
	中京区寺町二条下ル 231-3613																																			
(企)	絵 草 子	浮世絵・木版画、新版画常設																																		
	東山区新門前通東山西 551-9137																																			
(企)	延寿堂ギャラリーソフォア	時澤真美 展 （硝子）										水野幸一×みずのみさ 展 （陶器×硝子）																								
	中京区二条寺町東入ル 211-5552																																			
(企)	御 池 画 廊	休廊中																																		
	北区小山西上総町20-2 492-3083																																			
(企)	画 廊 た づ	日本画常設展（土日祝休廊）																																		
	東山区神宮道三条西入ル 771-8225																																			
(貸)	ざおんギャラリーハ坂	写真・彫刻 展「三日月の森」	着物・小物展示販売 京のきもの嵯峨宗 住田宗明					オリジナルデザインのシルバー アクセサリー展 たま 安部和美					ビーズ&バック 展示販売 Tan Tan 野村たえ					POP&レトロなオリジナル ファッション 撫子座 泉里美																		
	東山区祇園町南側 525-1717																																			
(企)	喜聞堂アートスペース余花庵	写真・彫刻 展「三日月の森」	初田幸隆 陶展 土と灰が奏でる交響曲 ～焼締陶、その静かなる革新～					Dara Collection 京都人のための ペルシア絨毯展					松村一夫展 －油彩画と焼締め陶－					本家鍋島織通展																		
	中京区寺町通御池上ル 212-9793																																			
(貸)	ギャラリー M	秋旅を描く展（伊勢志摩、ショーンの羊園） 油彩100号－万博の思い出－松本祐佳																																		
	中京区錦雲師高倉西 221-0979																																			
(企)	ギャラリー花友じゅらくだい	ロシア・ウクライナ出身画家作品展 （貸画廊受付中）																																		
	上京区智恵光院中立売上ル 451-6005																																			
(貸)	ギャラリー祇園小舎	京都写真 展 VI	プラムの会 水彩画展					松井京子 暮らしと旅と 描くこと					風と森の作品展					第42回清秀展																		
	東山区四条通堀手東入 551-3828																																			
(貸)	ギャラリー吉象堂						平岡康次写真展 「旅の途上にて」					貸ギャラリー受付中																								
	中京区三条柳馬場東 221-3955																																			
(貸)	ギャラリー Create 洛	日本画 展	山根康代 個展 （洋画）					稲垣直樹 個展（洋画） 聖衣－時空の花－										權－Kai－展 （日本画）					タカ ホリイ 展		→12/6											
	中京区丸太町通堺町角 708-7898																																			
(貸)	ギャラリー恵風	1F 2F	写真・彫刻 展	河合 桂 展（漆芸）					谷内春子 展（平面）					三人の絵画展 日下部直起・蛭田 均・ 山本桂右（平面）					金澤一水 展 （彫刻） 〈1F+2F〉					休廊							→12/2					
	左京区丸太町東大路東入 771-1011			作田優希 展（平面）					三人展 片山龍一、佐治佑沙、 山中ワサ（平面）																											
(貸)	ギャラリー胡々湾	アート 展	筆兄の会II 日本画展					Frctal マクラメ・塗香・刺繍					生なる四季の恵み（日本画） 黒岩生子 個展					日本画 グループ展																		
	東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460																																			
会 場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1			
			(日)	月	(火)	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火			
(貸)	ギャラリー佐野	貸ギャラリー受付中																																		
	中京区寺町錦雲師西北角 221-2767																																			
(企)	ギャラリー三条祇園	お問い合わせください。																																		
	中京区寺町通御池上ル 221-6401																																			
(企)	ギャラリー白川	時代を彩る作家たちー現代アートとラグジュアリー 大平和正、栗本夏樹、シーズン・ラオ（月・火休廊）																																		
	東山安井東一筋日南 532-2616																																			
(貸)	ギャラリー 16	おおしまたくろう 展 「ラジオ・フレンドリー・ユー・モラス・スタッター」 （月曜休廊）										岡留 優 個展「ポーズ pose/pause」 （月曜休廊）																								
	東山区三条通白川橋西入ル 751-9238																																			
(貸)	ギャラリー Space 妙																			□覚（しかく）反応 実験展「プカプカ」																
	左京区松ヶ崎堀町1-1 090-6605-0656																																			
(企)	ギャラリー 創	日本画・洋画・古書画常設展																																		
	中京区河原町御池上ル 251-0522																																			
(企)	ギャラリー鉄齋堂	常設展										第33回書画まつり （会期中無休）										常設展														
	東山区新門前東山西 531-6164																																			
(貸)	ギャラリー富小路											volga volga 2026-2027 autumn/winter Clothing POP UP STORE																								
	下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576																																			
(企)	ギャラリーなかむら											Introspection（彫刻グループ展） （月曜休廊）																								
	中京区姉小路河原町東 231-6632																																			
(貸)	gallery 春と修羅	貸ギャラリー受付中																																		
	中京区夷川通寺町東入 070-9018-7490																																			

会 場		日 曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1											
			(日)	月	(火)	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火											
企 業	ギャラリー 白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427		白崎信子ガラス作品常設展																																									
	貸 企 業	1F	大宮中央公園 新緑の森 新緑の森 新緑の森	第13回 新制作関西絵画部 会員展					石段 昭 作品展 -土の声- (創画会会員) (日本画)					赤松玉女 個展 きざしのふくらみ (油彩 他)					一居孝明 展 Gold Story Final Chapter (新制作協会会員) (油彩・アクリル)																									
2F		たくま たえこ展							増岡詩乃 個展 浮世の粋 (日本画・版画)																																			
企 業		奥庭 空間	外磯秀紹 立体展 (※月曜休廊、日曜17時まで)																														→12/27											
	ギャラリー 美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710		日本画常設展 (月曜休廊)																																									
貸 企 業	企 業	3F	亀谷 彩 漆						川崎千尋 (日本画)					高見晴恵																														
		4F							山本あずみ (日本画)																				山岡樹里 (型染)					コンテンポラリーアート メダル (立体作品) (月曜休廊)										
貸 企 業	企 業	5F		山本雄教「ウロ」日本画展 (月曜休廊)																				水谷 豊 (映像)																				
		ギャラリー 八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710																														木村裕子・美玲 展 書画の風景・秋韻												
企 業	貸 企 業	装 展	芥川 宏 陶磁展2026 ～海は私のもの～					高木唯可 水彩画展					古谷緋龍作品展										西村明子展 KNIT & FELT																					
企 業	貸 企 業	「坂本龍馬と酢屋」常設展																																										
企 業	企 業	ギャルリー 宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321					鴻池朋子 メディシン・インフラ (現代美術) 1:00PM～7:00PM (水曜休廊)																																					
企 業	貸 企 業	内外美術品・小物の常設展示・即売																																										
貸 企 業	企 業	貸画廊受付中																																										
企 業	企 業	京都市芸大ギャラリー@KCUA 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010					KYOTO EXPERIMENT 2026 展示 (月曜休廊) 遠藤 薫 「二十世紀の睡眼法」 ミツ・セン 「Unwritten Intimacy-暗黙の親密さ」																																					
企 業	企 業	京都市立芸術大学資料館 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010					京都市立芸術大学美術調査隊ニューギニアに行く 11/1(日)～11/3(水) 14:00～15:00連続講座 11/6(金) 12:15～12:45ギャラリートーク																																					
企 業	企 業	京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000															Focus #7 田中功起による展覧会 『時間がない (ときに眠ること)』																	→1/11										
企 業	企 業	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305					京のモダンな学校建築-遺された写真と校舎を飾る美術- 休館日:毎週水曜日 (祝日の場合は翌平日)																											→12/20										
会 場		日 曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1											
			(日)	月	(火)	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	(土)	(日)	月	火											
貸 企 業	企 業	1F 「月」	清永安雄「天花」 (月曜休廊)																														→12/27											
		2F 「花」	京都府立 京都市立 京都市立	かなまる。個展「いま、ここから。」 (月曜休廊)										ヨウコ・グログウスキー 写真展					杉浦正和 写真展																									
企 業	企 業	1F		京焼作品の常設展 (木曜休廊)																																								
		2F	わん・碗・ONE展 (木曜休廊)										色絵組合展 (木曜休廊)															寛永行幸四百年 記念展					→12/9											
貸 企 業	企 業	京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902					ワタナベミチ 写真講座 グループ展					万華鏡であじわう宇宙の輝き展																									→3/31							
貸 企 業	企 業	堺 町 画 廊 中京区堺町御池下ル 213-3636					日本画 展	鎌田 開 個展 (洋)					作者都合により 予定変更					與倉 玲 個展					伊藤五美 陶展					箱崎 竜平	→12/6															
企 業	企 業	大 雅 堂 東大路通祇園上ル 541-7388						嘴矢祭-其之百四十三- 青木恵展「汀」(無休)										eggo0102 寿山 祐子展 (無休) 葡萄みたいな優しさで											→12/5															
企 業	企 業	常設展／美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																										
企 業	貸 企 業	梅 軒 画 廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510					日本画・洋画 常設展 (日祝休廊)																																					
企 業	貸 企 業	画廊企画の常設展																																										
企 業	企 業	星 野 画 廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670															明治・大正・昭和名作発掘品展 (日・月曜休廊)																	画家たちより与えられた永遠のいのち 「静物画」(毎月曜と11/22以外の日曜休廊)										→12/19

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
【短信】 京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当連合会のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、
すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>